

解 答

問1	問2	問3	問4	問5
④	④	④	①	②

問1：設備投資計画の結果、借入金額や支払利息、減価償却費等の金額が変わりますので、それらを織り込んだ税金計画が最終的に策定されます

問2：対象顧客や販売場所によって販売価格が異なる場合は、分かりやすさを犠牲にしない範囲で、それぞれの価格を使うほうが望ましいと考えられます

問3：社会的な意義のある事業であったとしても、採算ベースに乗せることは重要な課題となります

問4：計画と実績の差異は、可能な範囲で分析することが望まれます。
(分析しやすいよう、予め計画の策定前提を整理しておくことも重要です)

問5：日々の行動改善の面では、行動計画でのKPIが重要です
(収支計画のKPIはその結果としての側面が強くなります)